

2026年3月期 決算説明会

2026年5月22日

株式会社オプティム(東証プライム市場：3694)

代表取締役社長 菅谷 俊二

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競合状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

AIであらゆる産業の未来を創造する

私たちは、AI・IoT技術を社会の隅々に行き渡らせ、日本のあらゆる産業を根底から変革する「AX (AI Transformation) の中核を担う企業」を目指しています。

アグリテック分野が大幅成長し、重要性が増加したことにより、事業の実態を適切に開示するため、2026年3月期から報告セグメントを「**AX事業（AI Transformation）**」、「**アグリテック事業**」の2区分に変更しております。また、AI技術を活用したサービス開発への注力に伴い、一部表記を「**DX（Digital Transformation）**」から「**AX（AI Transformation）**」へと変更しています。



1

2026年3月期 通期実績

2

2027年3月期 業績予想

3

成長戦略

4

Appendix

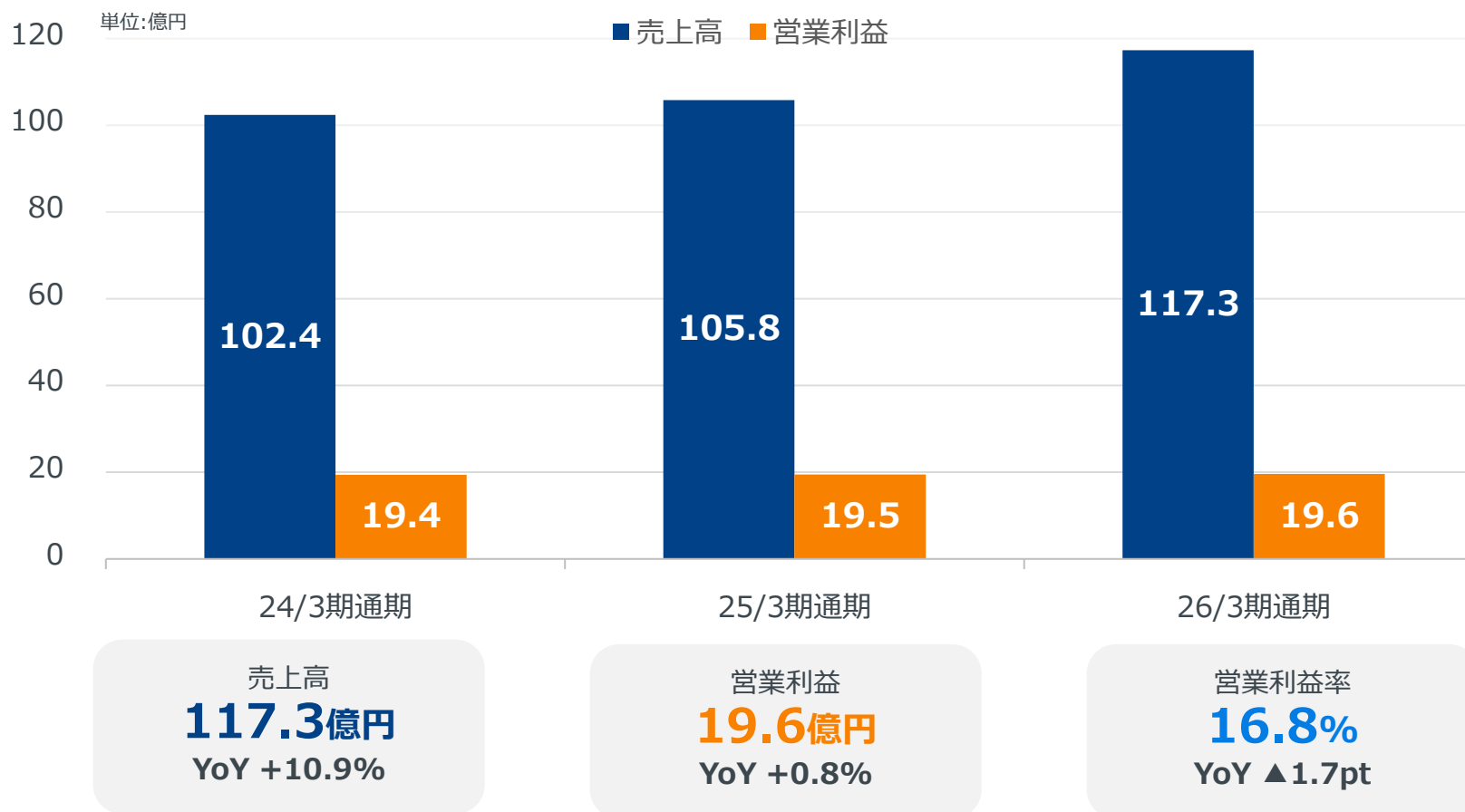
創業来26期連続で**過去最高売上高**を更新
営業利益も期初の減益予想から一転、**過去最高営業利益**で着地

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	実績 前年比	2026年3月期 通期業績予想	達成率
売上高	105.8億円	117.3億円	110.9%	116.4億円	100.8%
営業利益	19.5億円	19.6億円	100.8%	18.0億円 (15.7億円)	109.4% (125.5%)
経常利益	18.6億円	19.5億円	104.7%	17.9億円	108.9%
純利益	11.7億円	11.1億円	94.6%	9.6億円	116.1%

※親会社株主に帰属する当期純利益が前年同期比減となった主な理由は、第3四半期に投資有価証券評価損1.7億円を計上したため。

※ () は2025年5月15日発表の通期連結業績予想の数値です。

売上高は創業来26期連続で過去最高売上高を更新、2025年3月期比では10%を超える伸び率
営業利益は修正後の計画値を更に上回り着地、期初から一転して過去最高を更新
AI駆動開発により営業利益を押し上げ
営業利益率はAIサービス・アグリテック事業への積極投資により減少



2026年3月期よりセグメント区分を「AX事業」「アグリテック事業」の2区分へ変更

売上

117.3億円

YoY +10.9%

AX事業
91.0億円
YoY+2.7%

アグリテック事業
26.3億円
YoY+52.7%

営業利益

19.6億円

YoY +0.8%

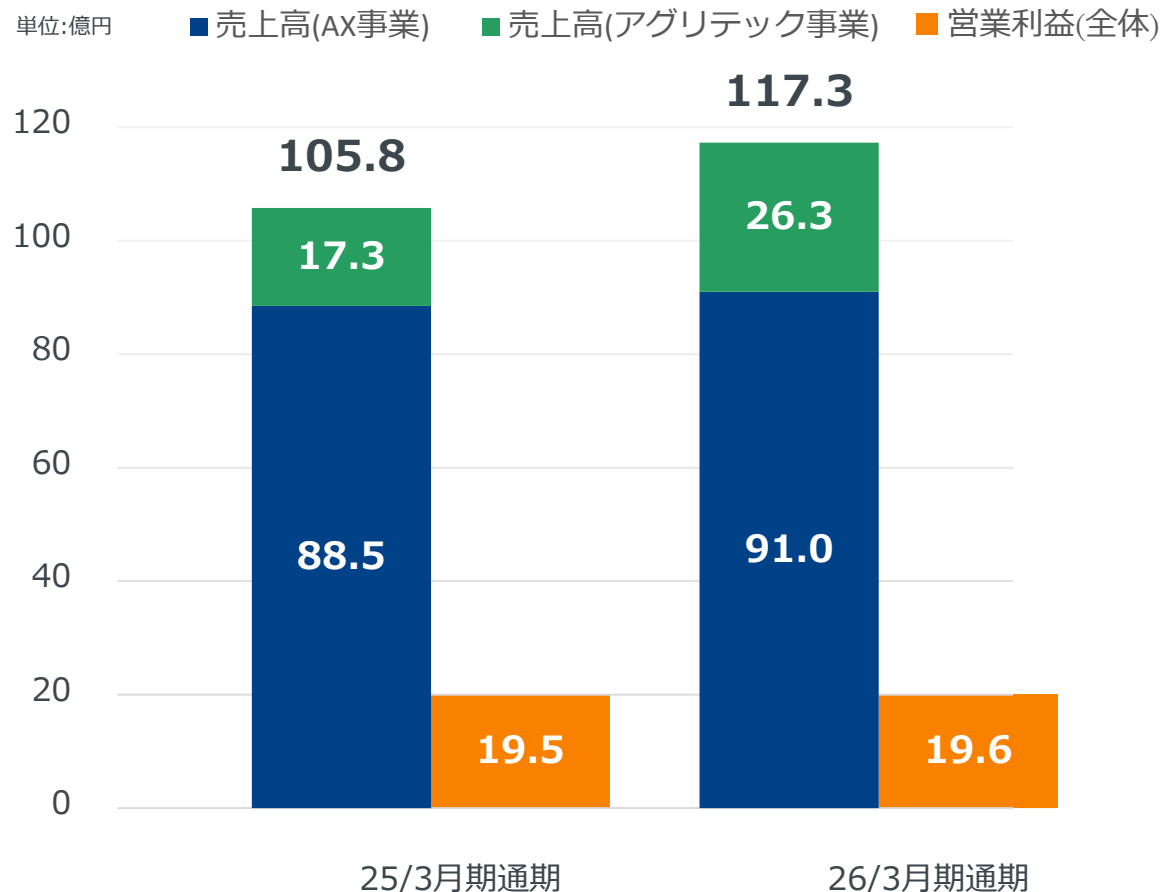
AX事業
49.9億円
YoY+7.4%

アグリテック事業
▲4.6億円
前年比較 ▲0.6億円

全社共通費

▲25.6億円

前年比較▲2.7億円



2026年3月期も増収増益続く 主力事業好調につき売上を伸ばし、収益構造はより強固に AXサービス、その他サービス※と分けた表記を開始

AX事業

売上高

91.0億円

YoY+2.7%

AXサービス
売上高

86.5億円

YoY+5.2%

その他サービス※
売上高

4.5億円

YoY▲30.1%

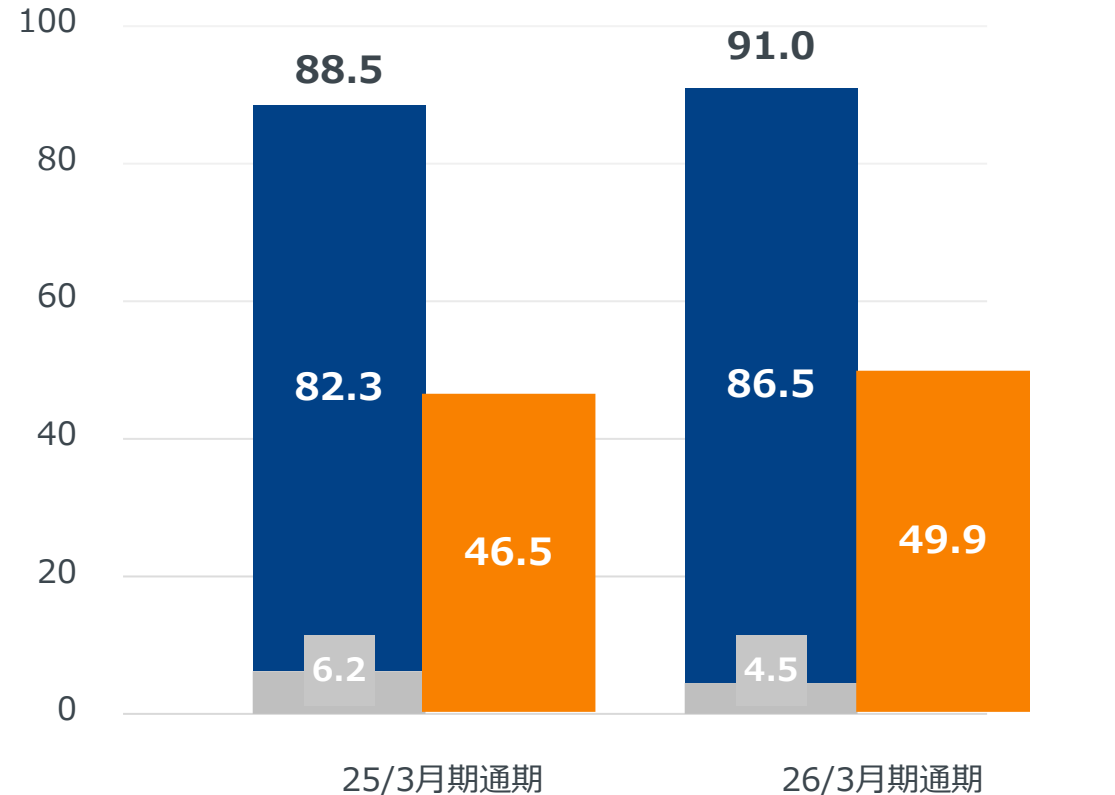
営業利益

49.9億円

YoY+7.4%

- 情シスAXサービスが「OPTiM Biz」を中心に堅調に成長
- オフィスAXサービス「OPTiM文書管理シリーズ」やコミュニケーションAXの新サービス「OPTiM Support & Growth Portal」も成長
- 各産業AXサービスの成長続き、売上拡大
- 戦略的フォーカスから外れた、その他サービス※は減収

単位:億円 ■ その他サービス売上高 ■ AXサービス売上高 ■ 営業利益(全体)



※一般コンシューマ向けサービス、単年度スポット案件など

AX事業のうち、その他サービス※を除外したAXサービスのみの売上高は86.5億円
そのうちストック売上高は70.5億円、ストック比率は81.47%と高水準を維持

AXサービス

売上高

86.5億円

YoY+5.2%

ストック 売上高

70.5億円

YoY+5.2%

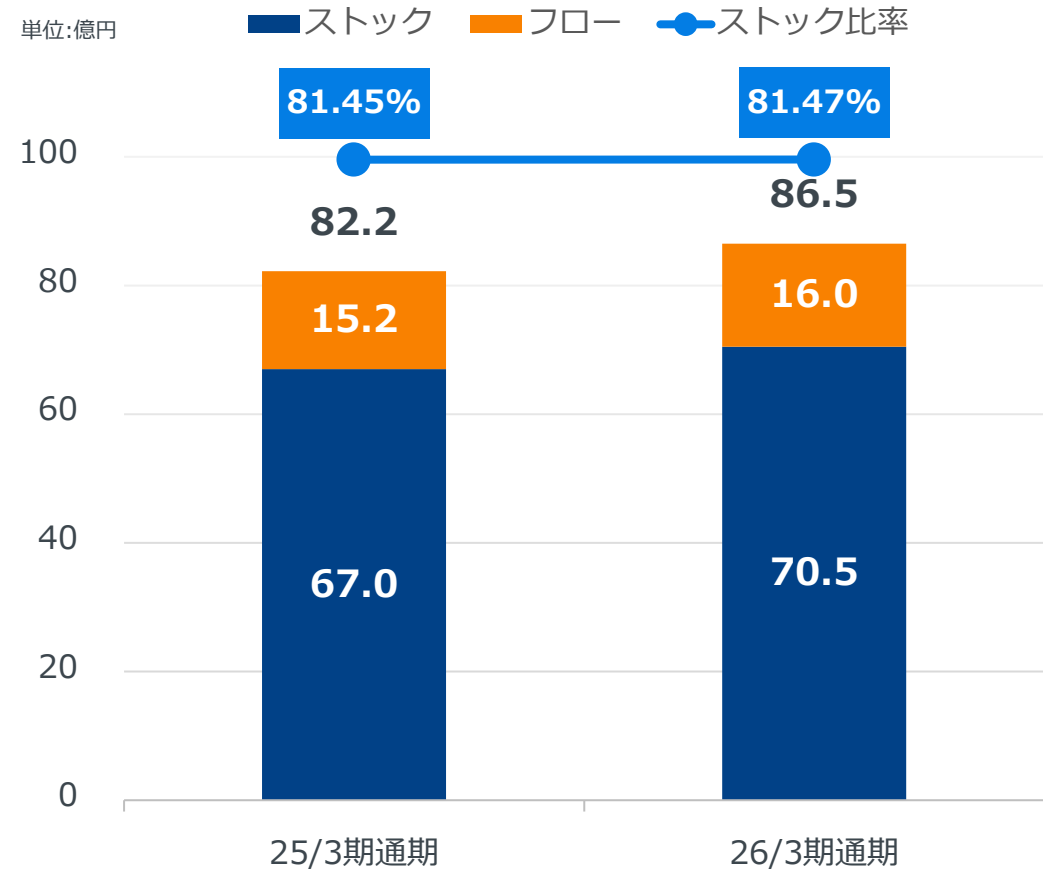
ストック 売上高 比率

81.47%

YoY+0.02pt

● 以下のAXサービスを中心にストック売上高が継続伸張

- 情シスAXサービス「OPTiM Biz」など
- オフィスAXサービス「OPTiM 文書管理シリーズ」
- コミュニケーションAX 「OPTiM Support & Growth Portal」など
- 建設・土木AXサービス「OPTiM Geo Scan」など



※一般コンシューマ向けサービス、単年度スポット案件など

売上高が2025年3月期比52.7%と大きく成長 積極的な成長投資により営業損失は拡大
ただし、営業利益率は▲23.3%から▲17.4%へと縮小、収益構造は改善を見せている

アグリテック事業

売上高

26.3億円

YoY +52.7%

営業利益

▲4.6億円

前年比較 ▲0.6億円

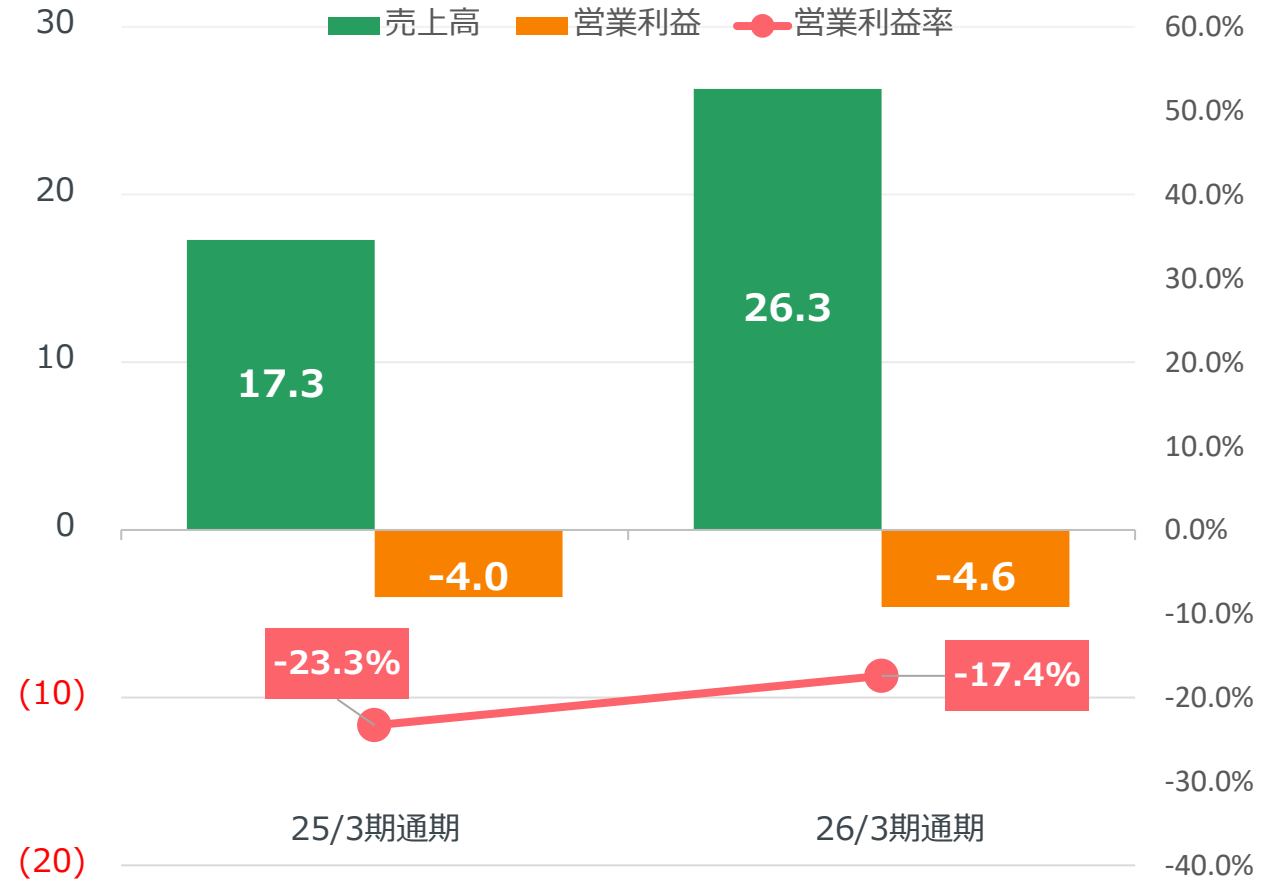
営業利益率

▲17.4%

前年比較 +5.9pt

- スマート農業サービス、特に、ドローン農薬散布AXサービスが気候変動による病害虫の増加や、ヘリからドローンへの移行の流れを受け、日本最大のドローン農薬散布サービスに成長
- スマート農業サービスの継続利用率高く、生産者に満足いただけるサービスの地位を確立
- 他作物への横展開や遮光材散布サービスが本格化
- スマートアグリフードも事業成長続く
- 積極投資により営業損益が拡大するも、営業利益率は改善傾向

単位:億円





情シスAXサービス

15年連続国内シェアNo.1^{※1}のMDMサービス「OPTiM Biz」を中心にライセンス数を伸ばし、売上高の増加に大きく貢献しました。18万社以上^{※2}の圧倒的な市場シェアとストック型ビジネスモデルにより、高い利益率を生み出しています。

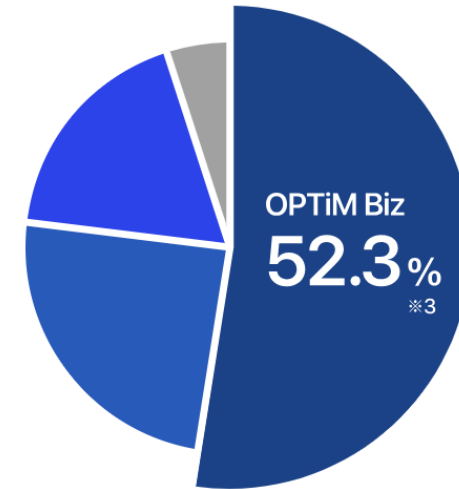


OPTiM® Biz



MDMシェア15年連続 **No.1**^{※1}

18万社以上^{※2}の圧倒的な導入実績



※1 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「クラウドサービス市場の現状と展望 2013年度版」IT資産管理（MDM含む）市場「合計売上高」2011年度～2012年度実績（2013年発行）、「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望 2014年度版」MDM市場動向「MDM出荷ID数（SaaS・ASP含む）」2013年度実績（2014年発行）、「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望」MDM市場動向「MDM出荷ID数（SaaS・ASP含む）」2014年度～2017年度実績（2015～2018年発行）、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望」MDM市場「MDM出荷ID数（SaaS・ASP含む）」2018年度～2024年度実績および2025年度見込（2019年～2025年発行）より。

※2 当社調べ（2019年6月25日時点）。 ※3 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2025年版」2025年9月発行より2024年度MDM出荷ID数（SaaS・ASP含む）より。グラフは同レポートを元に当社にて作成。

各産業AXサービスが順調に進捗しています



建設・土木AXサービス

「OPTiM Geo Scan」では新たに位置情報測位においてミリ単位の測位精度を実現しました。これにより、従来は複数の作業員と高額な専用装置で実施していた、測量や位置決め業務がスマートフォンのみで実現可能となり、3Dデータも作成することができます。これらの技術は人手不足や熟練技術者の減少が深刻化している建設業界にとって大変有用なものとなり、今後の成長が期待されます。



医療AXサービス

医療現場で多くの文書作成、管理業務を生成AIを使い大幅に削減できる「OPTiM AI ホスピタル」は、その有効性が国際的な査読論文に掲載され、第三者機関から極めて高い評価を受けています。現在も複数の病院で本導入に向けたPoCを実施しており、実際の医療現場からも高評価をいただいています。PoC実施後の正式採用率も非常に高く、DX化がいよいよ本格化してきている医療業界で注目を集めており今後の成長が期待できます。



オフィスAXサービス

生成AIを活用したサービス「OPTiM 文書管理・OPTiM Contract・OPTiM 電子帳簿保存」が、企業でのDX、AXの浸透を追い風に成長を続けています。

各産業AXサービスが順調に進捗しています



コミュニケーションAXサービス

住民向け総合ポータルアプリ「自治体公式スーパーアプリ」が、青森県階上町や佐賀県神埼市など複数の自治体でも採択されるなど、広がりを見せています。また本サービスは、デジタル庁が公開しているデジタル地方創生サービスカタログに掲載されました。これは、デジタル庁が定めるモデル仕様を満たし、国の基準に適合したサービスとなったことを意味しており、自治体からの信用向上につながっています。

顧客用ポータルサイトをAIが作成、運用までを自動化することで、顧客満足度向上と売上拡大を両立できるAIカスタマーポータル「OPTiM Support & Growth Portal」が、その効果の大きさから多くの企業で導入が開始されています。

開発プラットフォーム

上記のAXサービスやスマート農業サービスを提供するプラットフォームとして長年開発を行ってきた「OPTiM Cloud IoT OS」をさらに発展させ、当社グループの経営理念である“ネットを空気に変える”を具現化する新たなサービスプラットフォーム「OPTiM AIR (AI IoT Robotics Platform)」としてリブランディングしました。これまで以上に迅速なサービス開発、開発コストの抑制、当社グループが提供するサービスのクロスセルの容易化を同時に実現します。



「楽しく・かっこよく・稼げる農業」の実現に向け、農作物栽培から販売までのあらゆる工程を独自のスマート農業サービスでAX化を進めています

当社が提供するスマート農業サービス

均平化・田起こし
AXサービス



田植え・ドローン播種
AXサービス



ドローン農薬散布
AXサービス



収穫・乾燥調整
AXサービス



スマート米
栽培・販売AXコンサル



栽培におけるワークフロー



耕起



田植え・播種



除草・施肥・防除



収穫



販売

2026年3月期も順調にサービス提供面積を伸ばしています。

生産者・JAなどの98%が2027年3月期も本サービス利用の継続を希望しており、
非常に高い評価をいただいています。

サービス提供面積

(国内最大※)



32,000ha

昨対比率 123%
2024年度 26,000ha

継続率

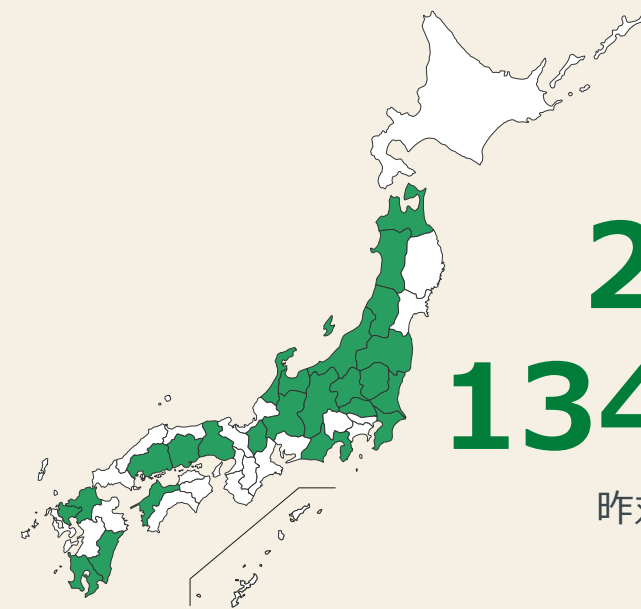
2025年実施し2026年も継続いただくお客様の継続率



98%

昨対比率 104%
2024年度 94%

サービス導入府県



25府県

134市町村

昨対比率 96%
2024年度
26府県
133市町村

サービス提供圃場数



133,078圃場

昨対比率 120%
2024年度 110,000圃場
2025年に当社が散布した圃場数

稼働パイロットチーム数



266チーム

昨対比率 133%
2024年度 200チーム
2025年に散布に参加したチーム数

※ドローンでの散布において / 当社調べ(2026年2月8日時点)

AI新サービスを続々リリース

Civil ReSnap	近接目視点検支援サービス。 橋梁などを点検する作業において、過去の画像と見比べながらチェックし、そのままAIによって点検調書として生成し整理することが可能。
OPTiM Collaboration Portal	AIがあらゆる業務マニュアルを自動生成・更新・管理できるポータルサイト構築サービス。 生成だけでなく、更新もAIによる指示で実施可能となっており誰でも運用が可能。
OPTiM Support & Growth Portal	AIが自動的に顧客用ポータルサイトを作成、運用。顧客満足度向上と売上拡大を両立できるAIカスタマーポータルサービス。 顧客支援だけでなく、顧客のニーズや問題点を可視化し、営業機会も増やします。
Poishot	写真を撮るだけでAIが店舗宣伝を実現する集客サービス。 文章作成、SNSへの情報発信を自動化し、マーケティングを効率化します。

全エンジニアに「AIコーディングアシスタント」を導入し、生産性が大きく向上

利用を全社的に徹底した結果、開発効率が大幅に向上しました。

コード品質も向上し、AI運用コストを上回る生産性を実現しました。

新卒初任給の引き上げなどによる獲得競争力の強化、既存社員の働き方を改善

組織全体として社員一人ひとりが安心して中長期に働き続けることができる環境の実現を目指します。

株主優待制度を新設

株主の皆様の日頃からのご理解に感謝するとともに、当社商品及び当社事業へのご理解をより一層深めていただくことを目的に株主優待制度を新設しました。

多くの株主様にご好評、ご利用いただいております。



自己株式の取得を実施

成長投資を優先し、中長期的な事業成長を実現するとともに資本効率の向上も重要な経営課題と捉え、2026年2月13日付けで自己株式60万株の取得を行い、2026年3月13日付けで取得株式全株を消却いたしました。市場需給の影響を抑えつつ、確実に流通株式比率を向上させるとともに、一株当たりの持分価値を高めることで、全ての株主の皆様の利益に資する還元と考えて実施しました。

今後もキャッシュ・フローの状況や投資機会、株価水準等を総合的に勘案し、株主還元施策を継続的に遂行してまいります。

1

2026年3月期 通期実績

2

2027年3月期 業績予想

3

成長戦略

4

Appendix

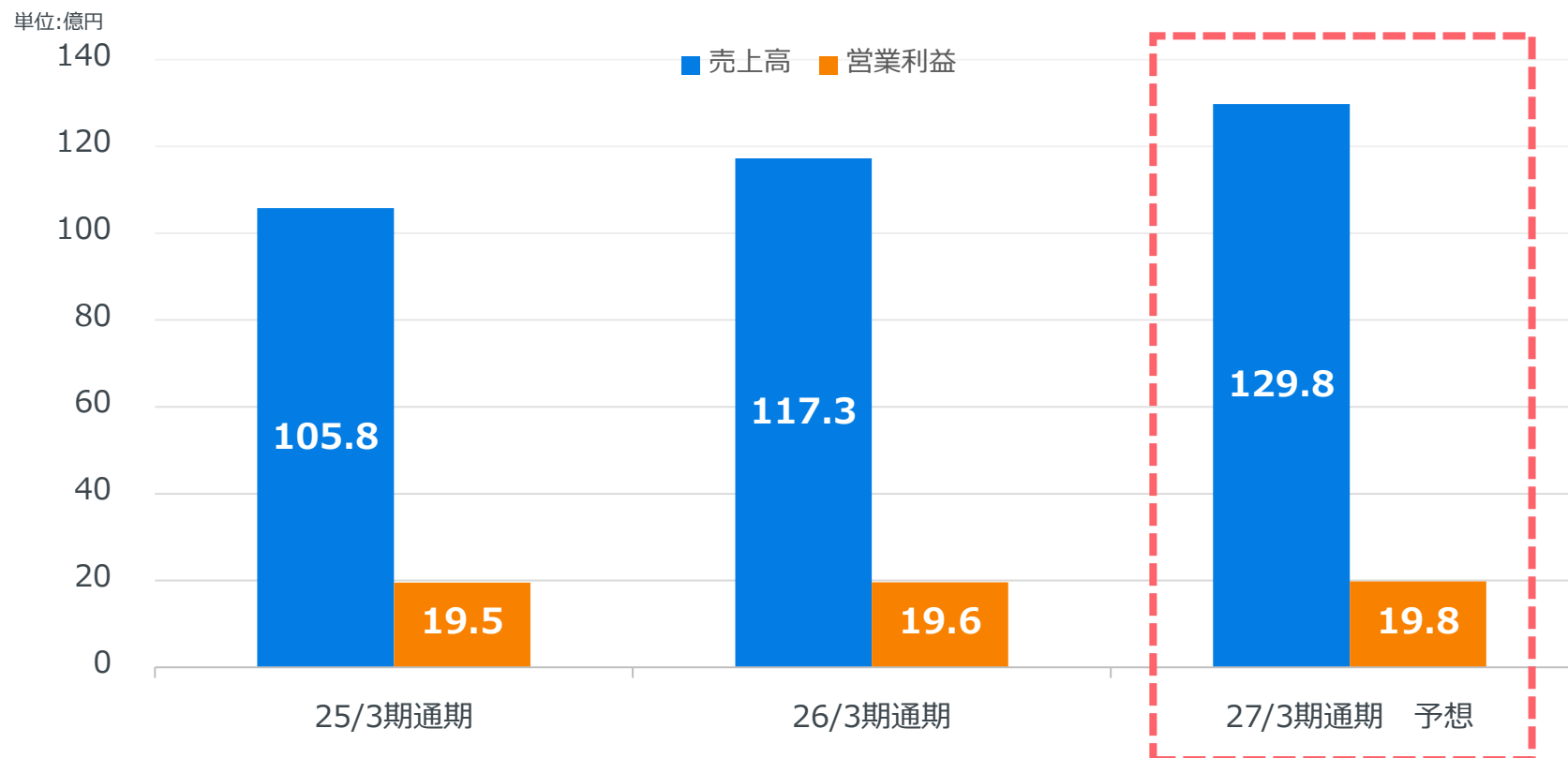
過去最高売上高、最高営業利益を目指します

売上高 **129.8億円**

(前年比110.6%)

営業利益 **19.8億円**

(前年比100.5%)



過去最高売上高、最高営業利益を目指します

売上

129.8億円

YoY +10.6%

AX事業
91.8億円
YoY+1.0%

アグリテック事業
38.0億円
YoY+44.0%

営業利益

19.8億円

YoY +0.5%

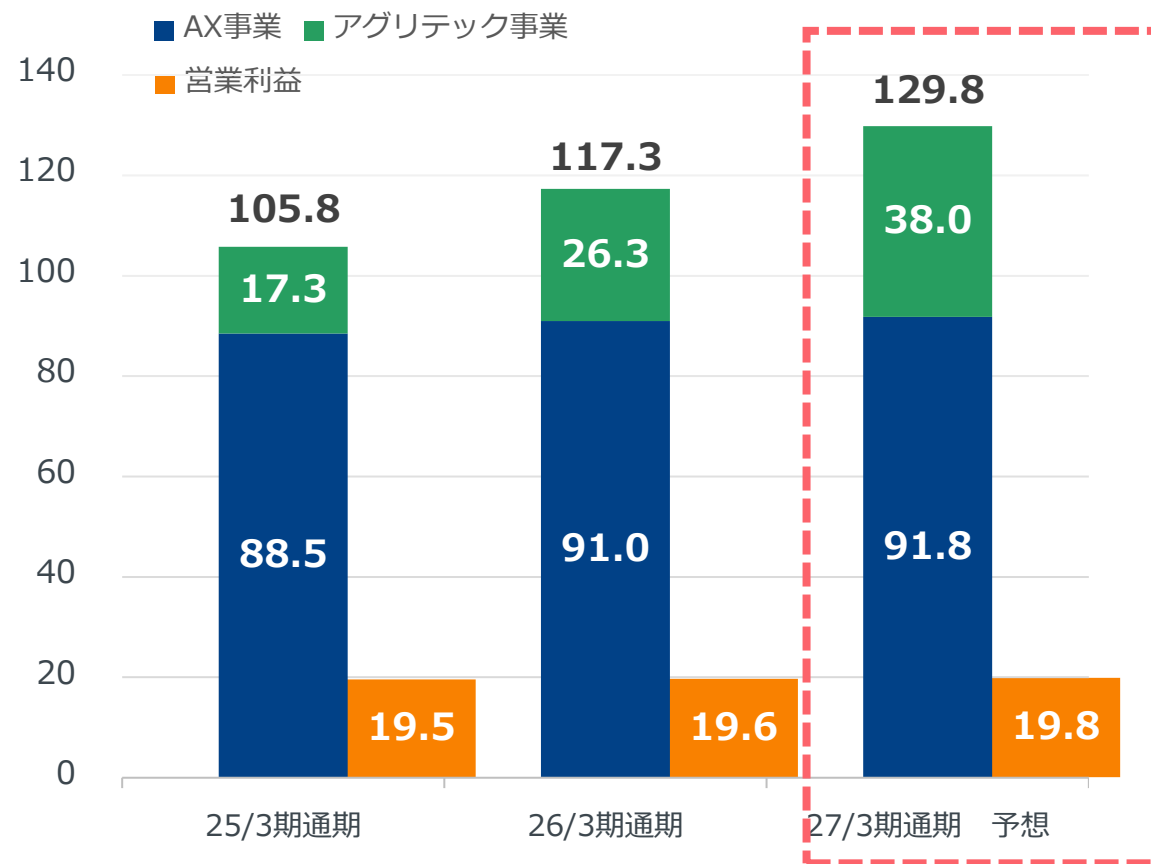
AX事業
49.8億円
YoY▲0.3%

アグリテック事業
▲3.5億円
前年比較 +1.1億円

全社共通費

▲26.5億円

前年比較▲0.8億円



情シスAXサービスの堅調な伸びと 積極的投資によるAIサービスの成長に注力

AX事業

売上高
91.8億円
YoY+1.0%

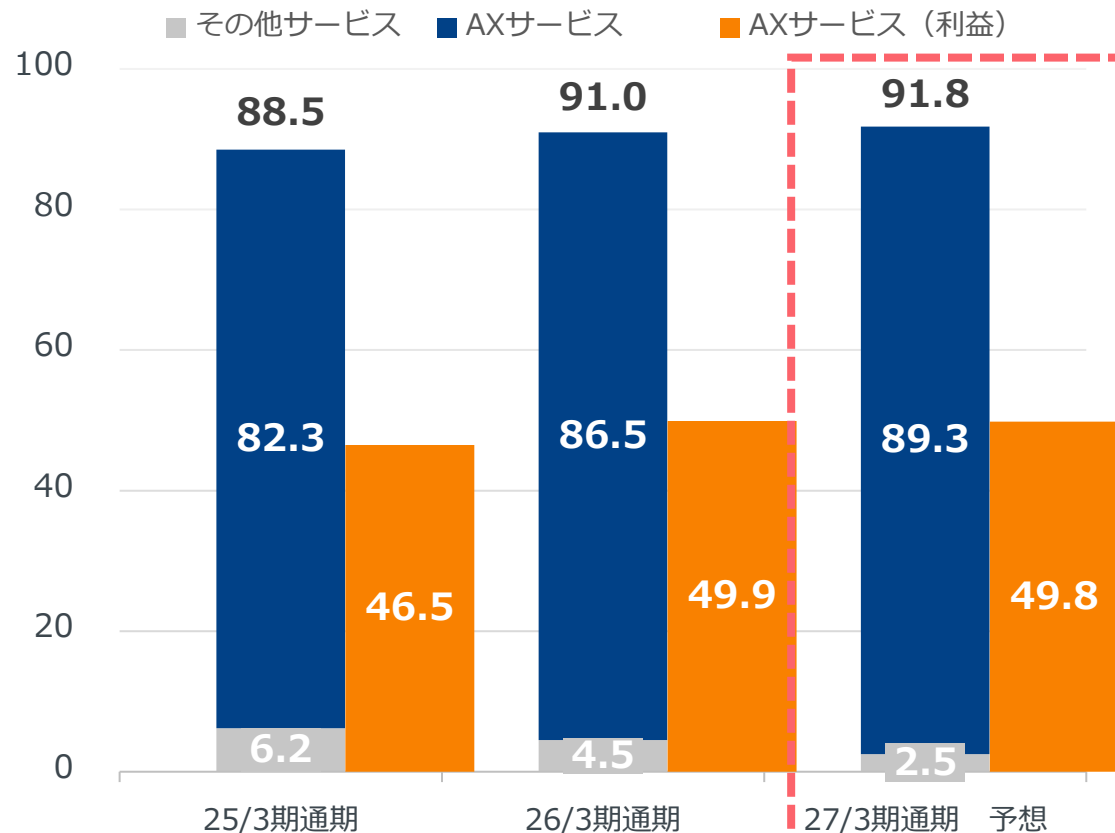
AXサービス
売上高
89.3億円
YoY+3.2%

その他サービス
売上高
2.5億円
YoY▲43.4%

営業利益
49.8億円
YoY▲0.3%

- 情シスAXサービスは「OPTiM Biz」を中心に2027年3月期も堅調に伸張見込み
- オフィスAXサービス「OPTiM 文書管理シリーズ」、コミュニケーションAXサービス「OPTiM Support & Growth Portal」などAI関連サービスの成長が顕著
- 建設・土木AXサービス「Geo Scan」の成長続く
- その他サービス※の大幅な減収

単位:億円



※一般コンシューマ向けサービス、単年度スポット案件など

2027年3月期もスマート農業サービスの大幅成長続く 売上高の大幅拡大と営業利益改善続く

アグリテック事業

売上高

38.0億円

YoY +44.0%

営業利益

▲3.5億円

前年比較 +1.1億円

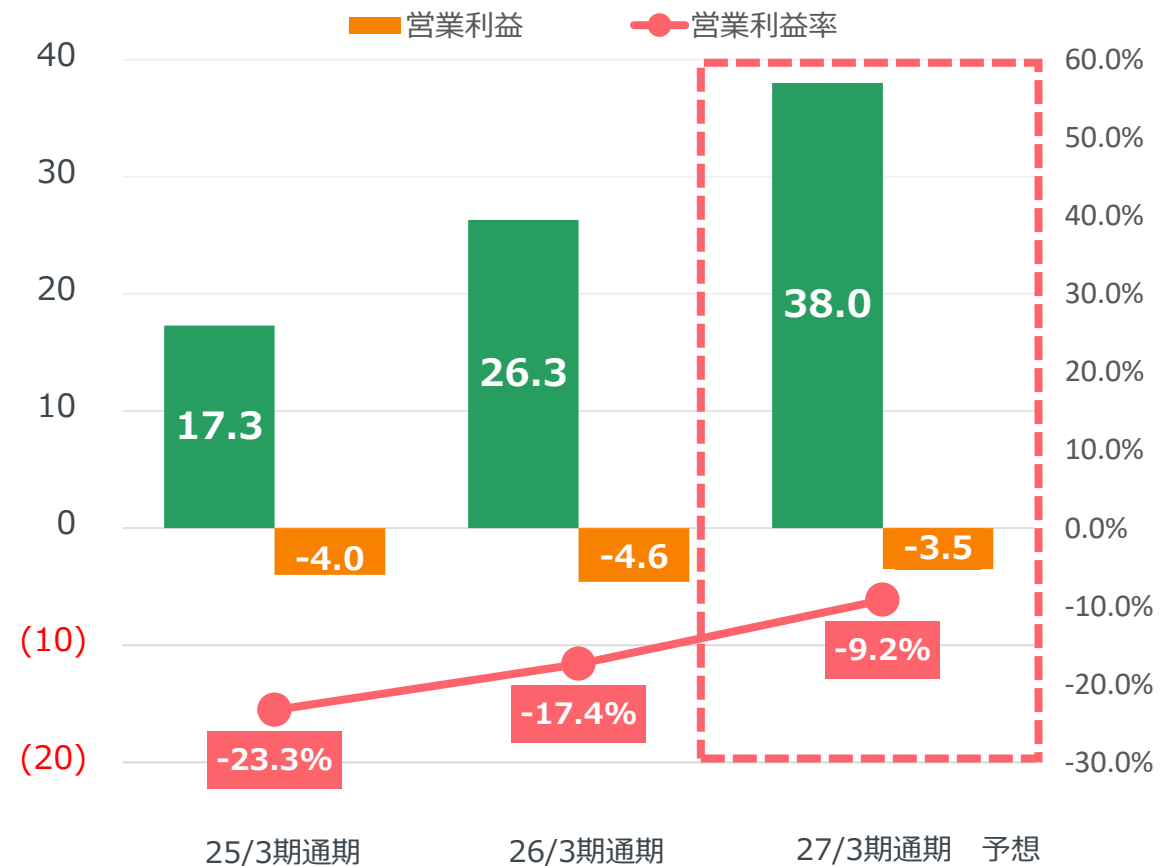
営業利益率

▲9.2%

前年比較 +8.2pt

- Agri Buddyを成長戦略の中心に据える
- 2027年3月期も高気温傾向が見込まれ、病害虫防除に対する意識は引き続き高水準になるものと予想
- ヘリ散布からドローン散布への移行も継続の見込み
- 他作物、他工程へのスマート農業サービス拡充進む

単位:億円



1 2026年3月期 通期実績

2 2027年3月期 業績予想

3 成長戦略

4 Appendix

「OPTiM Biz Premium」の販売を推進

「OPTiM Biz Premium」はMDM・SaaS管理・ID管理などの資産管理サービスがオールインワンとなっており、情報システム担当者の担うあらゆる業務を効率化・自動化することを目指して設計されております。直販に加えて販売パートナーとの連携を通じ、「OPTiM Biz Premium」を新たな柱とするべく拡販を進めてまいります。



「OPTiM Biz」の堅調とAIサービスの成長

「OPTiM Biz」を中心に2027年3月期も堅調に伸張見込み。今後もシェア拡大を目指し、積極的な機能拡張を行います。

オフィスAXサービスの「OPTiM 文書管理シリーズ」や、コミュニケーションAXサービスの「OPTiM Support & Growth Portal」などのAI関連サービスの成長を見込んでいます。



スマート農業サービス・プラットフォーム「Agri Buddy」を提供開始

～スマート農業テクノロジーを活用した「水平分業栽培モデル」を、32,000ha超の「スーパーファーム（仮想大規模農場）」で実現。農地集約課題を解決し、誰もが「楽しく、かつこよく、稼げる農業」の実現へ～

	生産者A	生産者B	生産者C
均平化・田起こし AXサービス 	耕起	耕起	耕起
ドローン播種 AXサービス 自社開発の打込み条播機で、 ドローン条播を実現	田植え・播種	田植え・播種	田植え・播種
ドローン農業散布 AXサービス (PTS) 共同防除運営すべてを AX化させるサービス	除草・施肥・防除	除草・施肥・防除	除草・施肥・防除
収穫・乾燥調整 AXサービス 	収穫	収穫	収穫

生産者による垂直統合栽培モデルから、水平分業栽培モデルへの転換

労力・資材・機材コストの削減と生産力向上を実現し、そのコスト削減効果を生産者の利益に還元し

稼げる農業を実現する

**バーチャルな土地集約
による大規模化**

スマート農業サービスではドローン・ロボット・AIを活用した 多くの作業工程をAX化するサービスを提供しています

サービス名	概要
ドローン播種AXサービス	ドローンによる田植え（播種）を行います
ドローン除草AXサービス	ドローンによる除草剤散布を行います
ドローン肥料AXサービス	ドローンによる肥料散布を行います
ドローンBS剤AXサービス	ドローンでBS剤（バイオスティミュラント剤）を圃場へ散布します
ドローン農薬散布AXサービス	ドローンで病害虫に対し圃場への農薬を散布します
ドローン遮光・遮熱剤散布AXサービス	ドローンによる遮光剤・遮熱剤散布を行います
均平化AXサービス	自動トラクターなどを使用しレベラーで圃場の均平を行います
田起こしAXサービス	自動トラクターなどを使用し耕起と代かきを行います
畦畔除草AXサービス	刈払ロボットなどを使用して畦畔除草を行います
収穫AXサービス	自動トラクターなどを使用し収穫を行います
秋耕AXサービス	自動トラクターなどを使用し秋期間に圃場の耕起を行います
柑橘向けドローンAXサービス	ドローンで高低差がある柑橘の圃場で、安全な自動飛行で農薬・肥料等の資材を散布します
ネギ向けドローンAXサービス	ドローンで折れやすいネギに風圧がかからないよう配慮し農薬・肥料等の資材を散布します
他作物ドローンAXサービス	ドローンで様々な作物に対し、農薬・肥料等の資材を散布します

Agri Buddy TechnologyでロボットとオペレーターをAIで管理
現場に即した高い生産性のサービスを提供可能となりました

Agri Buddy Technology

効率的な運用計画の立案

詳細な散布計画
地域情報のデジタル化

効率的な移動支援

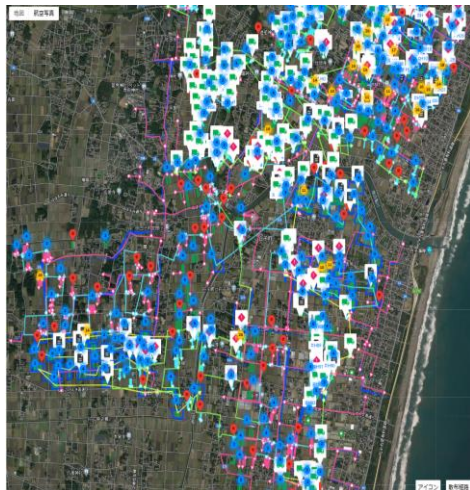
18万以上のパターンから
AI解析・シミュレーションに基づく最適割振

地域要望実現の徹底

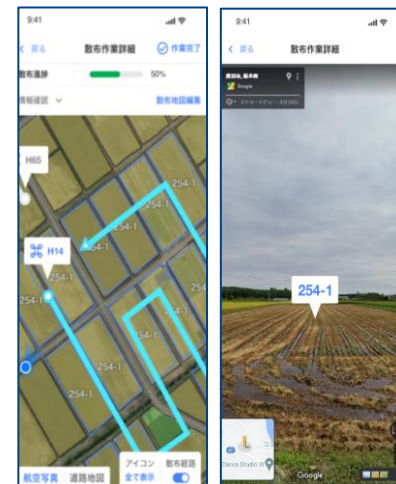
パイロットを正確に効率良く
ナビゲート



特許第7755913号



特許第7763023号

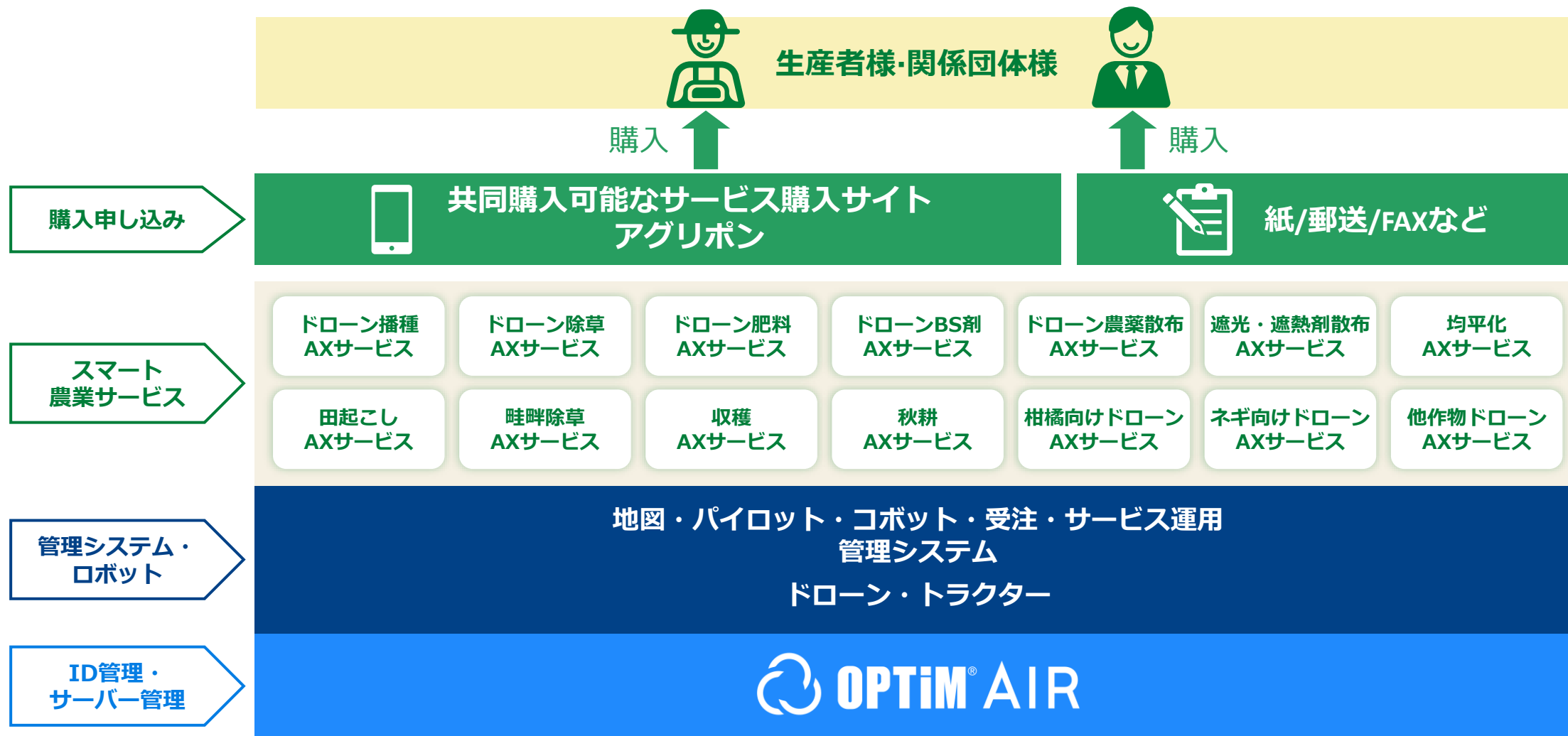


特許7755913号

※この他にも数多くの特許を取得しています

※地図データ ©2026 Google

スマート農業サービスは共通プラットフォーム「OPTiM AIR」が支えています

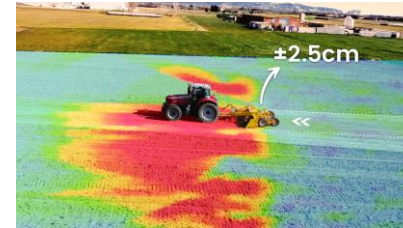


水稲（コメ）栽培で確立したプラットフォームの拡大 農業のあらゆる工程に対するAXサービスを展開し スマート農業サービスNo.1サービサーを目指す

栽培から販売まであらゆる工程へ拡大

- ・ 耕起
- ・ 田植え/播種
- ・ 除草/施肥/防除
- ・ 収穫
- ・ 販売

均平化・田起こし AXサービス



収穫・乾燥調整 AXサービス



ドローン農薬散布 AXサービス



田植え・ドローン播種 AXサービス



スマート米 栽培・販売AXコンサル



他作物向けPTS

- 葉茎菜類
- 豆類
- 穀類



- 柑橘類
- 根菜類
- 果菜類



当社の2026年3月31日時点における東京証券取引所プライム市場の上場維持基準への適合状況としましては、流通株式時価総額について基準に適合しておりません。

本件の改善期間は、2027年3月31日までの一年間となっておりますので、今回不適合となった流通株式時価総額基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

上場維持基準の適合に向けた具体的な取組み計画は、2026年6月30日までに東京証券取引所へ提出・開示いたします。

1 2026年3月期 通期実績

2 2027年3月期 業績予想

3 成長戦略

4

Appendix

商号	株式会社オプティム 英語表記：OPTiM Corporation（東京証券取引所プライム市場：3694）
所在地	OPTiM SAGA（佐賀本店）：佐賀県佐賀市本庄町1 オプティム・ヘッドクォータービル OPTiM TOKYO（東京本社）：東京都港区海岸1丁目2番20号 OPTiM KOBE：兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号
代表	菅谷 俊二
設立	2000年6月8日
資本金	445百万円
決算期	3月
従業員数	444名（2026年4月1日現在）
主要株主	菅谷 俊二、NTT東日本株式会社、富士フイルムホールディングス株式会社
事業内容	AX事業/アグリテック事業



オプティムグループ



連結子会社



株式会社オプティム
アグリ・みちのく

(オプティム95%：みちのく銀行5%)



- スマート農業ソリューションを活用し生産者と連携した農作物の生産と販売



株式会社オプティム・ファーム
(オプティム100%)

- 農産物の生産、販売、農園運営事業
- 農作業及び、その他作業のコントラクター事業など



OPTiM Bank Technologies
オプティムバンク
テクノロジーズ株式会社

(オプティム95%：佐賀銀行5%)



- 地銀DX、地域DXの推進
- DXファンド



株式会社ユラスコア
(オプティム100%)

- マーケティングDXサービスの開発・提供

持分法適用会社



D'PULA Medical Solutions Corporation

ディピューラメディカル
ソリューションズ株式会社



- 医療IoTソリューションの提供



株式会社NTT e-Drone
Technology



- 各産業における国産ドローンサービスの利用を推進



NET RESOURCE
MANAGEMENT

株式会社ネットリソースマネジメント
(NRM)



- Corporate DXの推進

その他



株式会社
アドバンス

株式会社アドバンス
(オプティム・ファーム100%)

- 農業DXの研究開発

盤石な収益基盤と高い成長性を両立し、巨大な市場機会を掴む



盤石な収益基盤

AX事業のストック売上比率が81.47%と高水準
安定したキャッシュフローを創出



高い成長性

アグリテック事業が
全売上の22.4%を占める第2の柱へ急成長



巨大な市場機会

数兆円規模の「課題解決」市場で
DX・AX需要を開拓



技術的障壁

特許累計606件超
唯一無二の技術力で市場をリード

成長を生み出す双発エンジン

当社の事業は、安定した成長と収益を生み出す「AX事業」と、
未来の飛躍的な成長を牽引する「アグリテック事業」の2つのエンジンで構成されています。

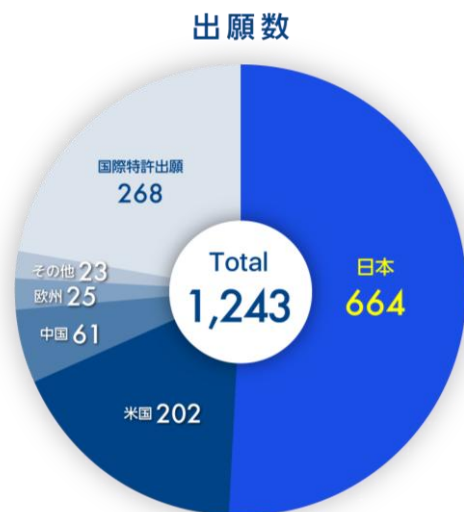
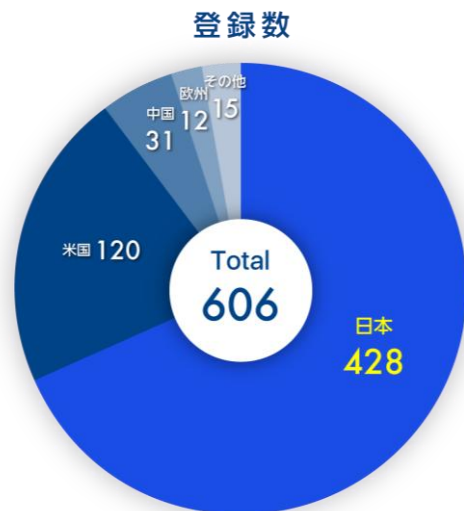


揺るぎない競争優位性

OPTiMの提供する価値は、4つの強固な競争優位性によって支えられています。
これらが他社の追随を許さない参入障壁を構築しています。



競争優位のキーとなる特許群



OPTiM Biz:

PCや各種IoT機器などのネットワーク機器から送信されるパケットを解析し、ネットワークに接続された機器を判別

登録番号: JP4855499 登録日: 2011/11/4

AI/IoTプラットフォーム「OPTiM AIR」:

コンピュータシステム、API提供方法及びプログラム（あらかじめ定めた条件に基づき、最適なAI（人工知能）やAPIを自動選択する）

登録番号: JP6404529 登録日: 2018/9/21

スマート農業サービス:

無線航空機、位置情報出力方法及び無線航空機用プログラム（ピンポイント農薬散布・施肥テクノロジーに関する基本特許）

登録番号: JP6326009 登録日: 2018/4/20

圃場における移動体の稼働を予測情報に基づき制御する情報処理システム特許について

登録番号: JP7132680 登録日: 2022/9/7

建設・土木AXサービス:

測定処理装置、方法及びプログラム（位置情報と3次元点群データを自動連携し、高精度3次元測量を簡単に実現する）

登録番号: JP6928217 登録日: 2021/8/11

平面図・横断面図をリアルタイムで作成する情報処理システム特許について

登録番号: JP7659954 登録日: 2025/4/10

医療AXサービス:

個人情報に配慮した薬の服用情報収集（お薬アプリを介して、患者の実際の服用情報（用法・用量など）を個人を特定できない状態で収集）

登録番号: JP7253308 登録日: 2023/3/29

オフィスAXサービス:

契約書管理システム、契約書管理方法、および契約書管理プログラム（契約書を解析、管理するAI・システム）

登録番号: JP6290459 登録日: 2018/2/16

コミュニケーションAXサービス:

コンピュータシステム、空席検知方法およびプログラム（カメラ画像をAIが解析し、空席率に応じた割引率のクーポンを提供する）

登録番号: JP6246446 登録日: 2017/11/24

その他サービス:

コンピュータシステム、振込詐欺防止方法及びプログラム（振り込み詐欺を防止する「ATMコーナー監視システム」）

登録番号: JP6959704 登録日: 2021/10/12

質疑応答

事前に頂いた質問

セグメント開示について教えてください。

今回の決算発表からセグメントごと開示されているようですが、セグメント開示された理由と、各セグメントにはどのようなサービスが含まれているのかを教えてください。

アグリテック分野が大幅成長し、重要性が増加したことにより、事業の実態を適切に開示するため、2026年3月期から報告セグメントを「**AX事業 (AI Transformation)**」、「**アグリテック事業**」の2区分に変更しております。また、AI技術を活用したサービス開発への注力に伴い、一部表記を「**DX (Digital Transformation)**」から「**AX (AI Transformation)**」へと変更しています。



事前に頂いた質問

AX事業について教えてください。

売上の70%以上がAX事業ですが、売上成長がかなり鈍化しているように見受けられます。その要因と打開策について教えてください。

情シスAXサービスの堅調な伸びと 積極的投資によるAIサービスの成長に注力

AX事業

売上高
91.8億円
YoY+1.0%

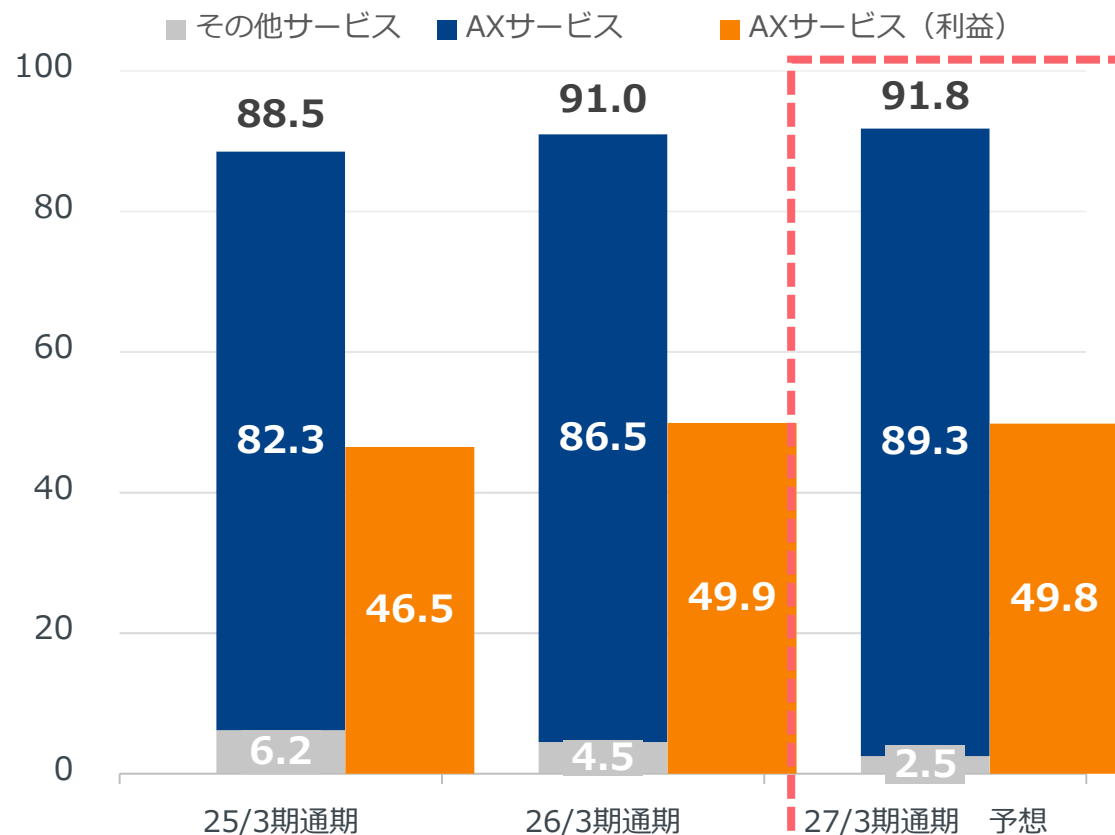
AXサービス
売上高
89.3億円
YoY+3.2%

その他サービス
売上高
2.5億円
YoY▲43.4%

営業利益
49.8億円
YoY▲0.3%

- 情シスAXサービスは「OPTiM Biz」を中心に2027年3月期も堅調に伸張見込み
- オフィスAXサービス「OPTiM 文書管理シリーズ」、コミュニケーションAXサービス「OPTiM Support & Growth Portal」などAI関連サービスの成長が顕著
- 建設・土木AXサービス「Geo Scan」の成長続く
- その他サービス※の大幅な減収

単位:億円



※一般コンシューマ向けサービス、単年度スポット案件など

事前に頂いた質問

アグリテック事業について教えてください。

アグリテック事業は、高い売上成長率を示しており、今後のさらなる拡大が非常に楽しみではあるのですが、一方で投資も実施されているようで2027年3月期も赤字予想となっています。事業としてどのように利益を上げていく計画なのか、可能な範囲で教えてください。

2027年3月期もスマート農業サービスの大幅成長続く 売上高の大幅拡大と営業利益改善続く

アグリテック事業

売上高

38.0億円

YoY +44.0%

営業利益

▲3.5億円

前年比較 +1.1億円

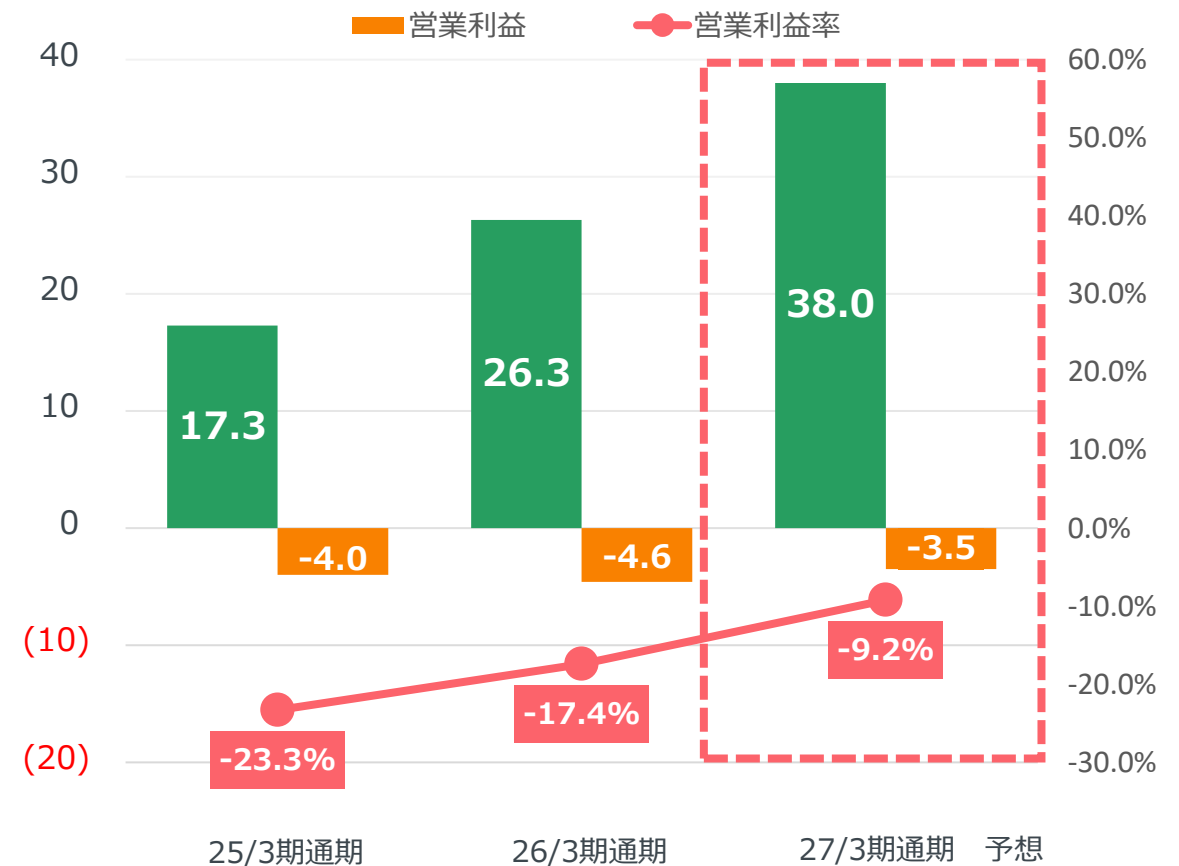
営業利益率

▲9.2%

前年比較 +8.2pt

- Agri Buddyを成長戦略の中心に据える
- 2027年3月期も高気温傾向が見込まれ、病害虫防除に対する意識は引き続き高水準になるものと予想
- ヘリ散布からドローン散布への移行も継続の見込み
- 他作物、他工程へのスマート農業サービス拡充進む

単位:億円



事前に頂いた質問

利益について教えてください。

2026年3月期の営業利益は、期初計画では2025年3月期実績よりも下回る予想でしたが、一転して前年を越えた数値で着地となっています。このような結果になった理由を教えてください。

また、2027年3月期の営業利益も前年から微増の計画になっています。売上の伸びに対してかなり抑えられた数値のように見えますが、その理由も合わせて教えてください。

創業来26期連続で過去最高売上高を更新 営業利益も期初の減益予想から一転、過去最高営業利益で着地

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	実績 前年比	2026年3月期 通期業績予想	達成率
売上高	105.8億円	117.3億円	110.9%	116.4億円	100.8%
営業利益	19.5億円	19.6億円	100.8%	18.0億円 (15.7億円)	109.4% (125.5%)
経常利益	18.6億円	19.5億円	104.7%	17.9億円	108.9%
純利益	11.7億円	11.1億円	94.6%	9.6億円	116.1%

※親会社株主に帰属する当期純利益が前年同期比減となった主な理由は、第3四半期に投資有価証券評価損1.7億円を計上したため。

※ () は2025年5月15日発表の通期連結業績予想の数値です。

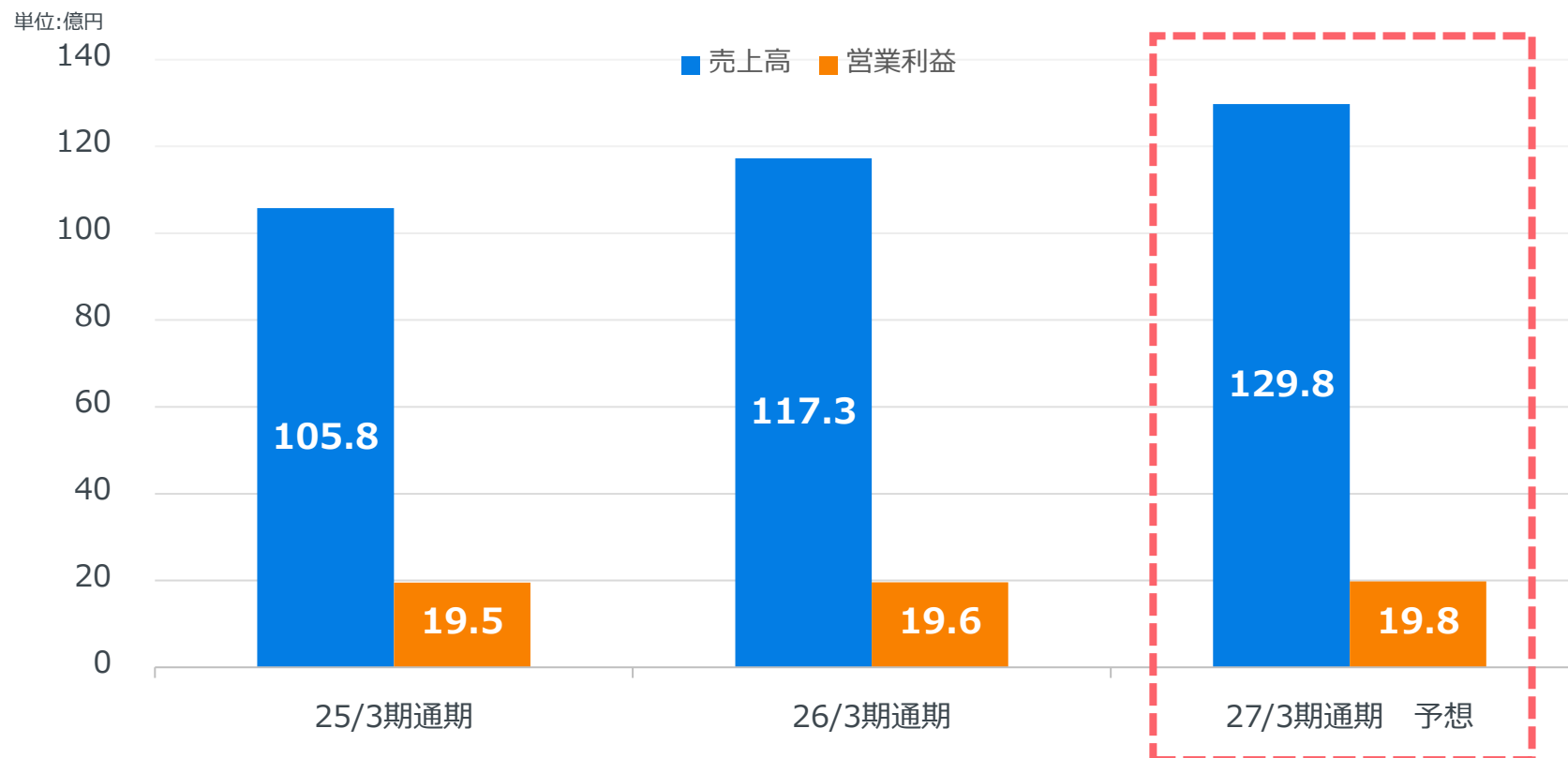
過去最高売上高、最高営業利益を目指します

売上高 **129.8**億円

(前年比110.6%)

営業利益 **19.8**億円

(前年比100.5%)



事前に頂いた質問

AIの活用状況について教えてください。

2025年3月期の投資方針として、「生成AI分野へのサービス開発、研究開発投資を積極的に推進」することと、「AIを事業・技術開発戦略の中心に据え、技術・サービス・社内変革の戦略的推進をすすめ、成長を加速させる」という2軸で活用されることを打ち出しておりましたが、その成果について教えてください。

AI新サービスを続々リリース

Civil ReSnap	近接目視点検支援サービス。 橋梁などを点検する作業において、過去の画像と見比べながらチェックし、そのままAIによって点検調書として生成し整理することが可能。
OPTiM Collaboration Portal	AIがあらゆる業務マニュアルを自動生成・更新・管理できるポータルサイト構築サービス。 生成だけでなく、更新もAIによる指示で実施可能となっており誰でも運用が可能。
OPTiM Support & Growth Portal	AIが自動的に顧客用ポータルサイトを作成、運用。顧客満足度向上と売上拡大を両立できるAIカスタマーポータルサービス。 顧客支援だけでなく、顧客のニーズや問題点を可視化し、営業機会も増やします。
Poishot	写真を撮るだけでAIが店舗宣伝を実現する集客サービス。 文章作成、SNSへの情報発信を自動化し、マーケティングを効率化します。

全エンジニアに「AIコーディングアシスタント」を導入し、生産性が大きく向上

利用を全社的に徹底した結果、開発効率が大幅に向上しました。

コード品質も向上し、AI運用コストを上回る生産性を実現しました。

新卒初任給の引き上げなどによる獲得競争力の強化、既存社員の働き方を改善

組織全体として社員一人ひとりが安心して中長期に働き続けることができる環境の実現を目指します。

事前に頂いた質問

生成AIの進化に伴う事業への影響について教えてください。

生成AIのAIエージェント機能の進化により、従来のSaaSビジネスモデルが根底から覆る、いわゆる「SaaSの死（SaaS is Dead）」論が議論されています。

御社ビジネスへの影響について有無を教えてください。

また影響がある場合は、想定しうる影響についても合わせて教えてください。

各産業AXサービスが順調に進捗しています



建設・土木AXサービス

「OPTiM Geo Scan」では新たに位置情報測位においてミリ単位の測位精度を実現しました。これにより、従来は複数の作業員と高額な専用装置で実施していた、測量や位置決め業務がスマートフォンのみで実現可能となり、3Dデータも作成することができます。これらの技術は人手不足や熟練技術者の減少が深刻化している建設業界にとって大変有用なものとなり、今後の成長が期待されます。



医療AXサービス

医療現場で多くの文書作成、管理業務を生成AIを使い大幅に削減できる「OPTiM AI ホスピタル」は、その有効性が国際的な査読論文に掲載され、第三者機関から極めて高い評価を受けています。現在も複数の病院で本導入に向けたPoCを実施しており、実際の医療現場からも高評価をいただいています。PoC実施後の正式採用率も非常に高く、DX化がいよいよ本格化してきている医療業界で注目を集めており今後の成長が期待できます。



オフィスAXサービス

生成AIを活用したサービス「OPTiM 文書管理・OPTiM Contract・OPTiM 電子帳簿保存」が、企業でのDX、AXの浸透を追い風に成長を続けています。

「OPTiM Biz Premium」の販売を推進

「OPTiM Biz Premium」はMDM・SaaS管理・ID管理などの資産管理サービスがオールインワンとなっており、情報システム担当者の担うあらゆる業務を効率化・自動化することを目指して設計されております。直販に加えて販売パートナーとの連携を通じ、「OPTiM Biz Premium」を新たな柱とするべく拡販を進めてまいります。



「OPTiM Biz」の堅調とAIサービスの成長

「OPTiM Biz」を中心に2027年3月期も堅調に伸張見込み。今後もシェア拡大を目指し、積極的な機能拡張を行います。

オフィスAXサービスの「OPTiM 文書管理シリーズ」や、コミュニケーションAXサービスの「OPTiM Support & Growth Portal」などのAI関連サービスの成長を見込んでいます。



事前に頂いた質問

御社の株主還元方針について教えてください。

事前に頂いた質問

東証プライム市場の上場維持基準への適合状況について教えてください。

2026年3月31日時点において、流通株式時価総額基準のみに適合していないとのことでしたが、それに対する御社の対応方針について教えてください。
また、上場廃止の可能性についても合わせて教えてください。

The logo for OPTiM Corp. is centered on the page. It features the word "OPTiM" in a bold, white, sans-serif font, with a registered trademark symbol (®) to the upper right of the letter "M". Below the logo, the website address "www.optim.co.jp" is written in a smaller, white, sans-serif font. The background is a dark blue gradient with a complex network of thin, light blue lines and dots, resembling a molecular or data network structure.

OPTiM[®]
www.optim.co.jp